

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | YMCAみらい | | 公表日 | | 2025年3月21日 | | 利用児童数 | 38 | 回収数 | 24 |
|----------|--|---|-----|-------|------------|--|--|---|-----|----|
| チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 22 | 1 | 1 | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 23 | 1 | | | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 20 | 2 | 2 | 子どもの特徴に応じて生活空間を区別したり統一したりすることでよりよい結果が得られると考えている | 活動に応じてパーティションで区切る等してあります 今後も、不必要な刺激を減らす等工夫していきます | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 23 | | 1 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 23 | | 1 | | 今後も研修等を行い、職員の知識を高めていきます | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 24 | | | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 24 | | | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 23 | | 1 | | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 23 | | 1 | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 23 | 1 | | | | | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 16 | 3 | 1 | 4 | 他の健常なお子さんと一緒に遊ぶことができれば発育も促進する可能性があるのではないか | YMCA内の放課後児童クラブとの交流の機会を持っていますが、伝えきれていないため、SNSやお便りでの発信を行っています | | |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 24 | | | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 23 | | 1 | | 面談の際に丁寧に説明していきます | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 23 | | | 1 | | 年に2回保護者の方とごきょうだいが参加できる行事を行っています | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | 23 | 1 | | | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 22 | 1 | 1 | | | 面談以外でも必要に応じて行っていることを保護者へ周知していきます | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 24 | | | | | | | |
| 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 21 | 1 | | 2 | 郊外の遠方の公園ではなく、近場で開催していただけるとより参加しやすく助かります 家族での活動や親子のふれあいの機会を増やしてほしい | 親子イベントを引き続き行っていきます 今後はニーズに沿って機会を設けることを検討します | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|------------------------|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 23 | | | 1 | | 契約の際に保護者の方に説明させていただいておりますが、その他の機会にも必要に応じて説明を行っていきます |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 22 | 2 | | | | 保護者の方によりわかりやすい方法での情報伝達に努めています |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 24 | | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 23 | | | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 20 | 1 | | 3 | | マニュアルの周知をどのように行うか検討しています。また、スタッフのみで行う訓練等についての報告にも努めています。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 20 | | 1 | 3 | いつやっているかまでは把握していませんでした | お子さんとは9月に水害が火災、3月に地震想定での避難訓練を行っております。その他にスタッフのみでの訓練もしています。ニュースレターやSNS等で報告を行っていきます。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 23 | 1 | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 22 | 2 | | | | 怪我の際は、本人が大丈夫と言った場合にも確認を徹底していきます |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 24 | | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 22 | 2 | | | | ご本人の思いを汲み取り、楽しんでもらえるよう努めています |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 23 | 1 | | | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | YMCAみらい | | 公表日 | | 2025年 3月 21日 | |
|---------|----|--|----|-----|--|----------------------------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 2 | バリアフリーではないため、段差をわかりやすく伝えている（段差に床とは違う色のテープを貼る等） | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 2 | | 普段活動している部屋の隣の部屋をより活用していきたい | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 6 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 6 | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|---|---|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | 1 | | 外出活動は行く場所が固定化してきているため、新規で行ける場所を提案していきたい |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 1 | 勤務時間の関係で、終了後に振り返りができないこともありますが、次の日に支援前に振り返りも行っていきます | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 6 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 6 | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6 | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 6 | | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | 6 | | 次年度より参加していく |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 6 | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--------------------------|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 6 | | | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | | |
| | 42 | 定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 6 | | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 2 | 保護者の申し出、保護者への聞き取りで対応している | 医師の指示書については、就学時等に学校へ提出する物の写し等を提出していただけるようにしていく |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 1 | | 家族への周知方法を検討していく |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | | | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|-------------|----|--------|------------|
| ○事業所名 | Y M C Aみらい | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年1月21日 | | ～ | 2025年2月15日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 38 | (回答者数) | 24 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年2月15日 | | ～ | 2025年3月7日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) | 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月19日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 野外活動・自然体験・体験活動を多く取り入れ、野外炊飯や川遊び、ハイキング、公共交通機関での移動や公共施設の利用も行っている | 野外活動、自然体験、体験活動が子どもたちの成長にとっても重要だと考えているため多く取り入れている | 次年度は社会福祉法人仙台YMCA福祉会が野外保育場を整備するため、そこでの活動も取り入れ、自然体験、野外活動の幅を広げていく |
| 2 | メンバーの意思決定を大切にし、活動内容の検討の際にメンバーの意見を取り入れている | 年度末や長期休暇の前に、メンバーからプログラム案の提案やプレゼンをしてもらい、活動を立案している | 土曜活動のメンバー以外は全員の意見を聞き取れていなかったため、提案する機会の持ち方を改善していく (取組案：直接の聞き取りの他、長期休暇中の2か月前に紙面でも聞き取りができるようにしていく) |
| 3 | ポップクラブ(民間の放課後児童クラブ)が隣接しており、行事等を一緒に行う等交流を図っている | 日々の活動の中で、西公園で一緒に遊ぶ他、長期休暇中の行事(お祭り)で一緒に活動をしている | このような活動をしていることを周知できていないので、周知していく また、メンバーの中には緊張するメンバーもいるため、本人の気持ちに寄り添いながら交流を図っていく |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 情報伝達の不足 | 避難訓練や放課後児童クラブとの交流を行っていたり、Y M C A全体の行事も伝えているが、保護者の方にわかりやすく伝わっていない | 契約の際だけではなく、面談の際にお伝えする ニュースレター・SNSで情報を発信する |
| 2 | バリアフリーではない トイレが共有 | 施設が古く段差がある トイレが施設全体での共有のため、異性のスタッフのトイレ介助が難しい | ・メンバーに段差をわかりやすく伝える(段差に床とは違う色のテープを貼る) ・必要に応じてY M C A内の放課後等デイサービス以外のスタッフに介助を依頼することもあることを本人と保護者にもお伝えしていく |